2027年3月期 第2四半期 (中間期)
決算説明会資料

2026年11月12日

東武鉄道株式会社

目次

Ⅰ.決算サマリ	P 2
Ⅱ.資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について	P 7
Ⅲ.長期経営ビジョンの実現・中期経営計画の推進	P 9
Ⅳ.持続可能な経営の実現に向けて	P28
appendix	P31

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

Ⅰ．決算サマリ

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

Ⅰ．決算サマリ　2027年3月期 2Q(中間期) ― 連結実績

鉄道業、百貨店業を中心に業績が堅調に推移し、対前年・対計画ともに増収・増益
政策保有株式縮減の推進等もあり、親会社株主に帰属する中間純利益は増益

- 営業収益は、鉄道業、ホテル業、賃貸業、百貨店業等において前年を上回り、全セグメントで増収。
- 営業利益は、鉄道業における減価償却費増等があったものの、全体では増益を確保。
- 経常利益は、減益となったものの、保有資産や政策保有株式の縮減推進等もあり、親会社株主に帰属する中間純利益は増益を確保。
- 対計画では、営業費用の繰延等があったほか、鉄道業、ホテル業、百貨店業を中心に増収となり、増益を確保。

単位：億円	2026年３月期 2Q実績	2027年３月期 2Q実績	増減	2027年３月期 2Q計画	増減
営業収益	**3,107**	**3,177**	70	3,165	12
営業利益	**355**	**361**	5	350	11
経常利益	**337**	**334**	▲3	315	19
親会社株主に帰属する中間純利益	**240**	**317**	77	280	37

※2027年３月期2Q計画は2026年４月30日公表ベース

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

Ⅰ．決算サマリ　2027年3月期 2Q(中間期) ー セグメント別実績

	単位：億円	2026年3月期 2Q実績	2027年3月期 2Q実績	増減	増減理由	2027年3月期 2Q計画	増減
運輸事業	営業収益	1,094	1,119	25	●鉄道業、バス・タクシー業で増収	1,109	10
	営業利益	159	157	▲2	●鉄道業における減価償却費増等があり、減益	137	20
レジャー事業	営業収益	836	840	4	●ホテル業を中心に増収	832	8
	営業利益	79	74	▲5	●旅行業の減収減益に加え、ホテル業やスカイツリー業の原価・経費増等があり、減益	78	▲4
不動産事業	営業収益	266	273	6	●賃貸業、スカイツリータウン業で増収増益	277	▲4
	営業利益	72	76	4	●分譲業は供給戸数減等により減収減益となったが、全体では増益を確保	75	1
流通事業	営業収益	866	875	9	●百貨店業を中心に増収増益	871	4
	営業利益	30	39	9	●ストア業の利益率改善、新東武カード発行費用減等も加わり、増益	36	3
その他事業	営業収益	382	415	33	●完成工事増等により、増収増益	436	▲21
	営業利益	21	24	2		32	▲8
調整額	営業収益	▲337	▲347	▲9		▲360	13
	営業利益	▲7	▲11	▲3		▲8	▲3
合計	営業収益	3,107	3,177	70		3,165	12
	営業利益	355	361	5		350	11

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

Ⅰ．決算サマリ　2027年3月期 通期見通し

不動産事業、流通事業を中心に堅調に推移し、当初計画の営業収益・利益を確保
親会社株主に帰属する当期純利益も当初計画どおり増益見込み

- 鉄道業、賃貸業、スカイツリータウン業、百貨店業等において、営業収益は前年を上回る見込み。
- レジャー事業、その他事業における営業減益をカバーし、全業ベースでは、当初計画の営業収益・利益を確保。
- 支払利息の増等により経常利益は対前年で減益見込みである一方、政策保有株式の縮減推進等により、親会社株主に帰属する当期純利益は、当初計画どおり増益見込み。

単位：億円	2026年３月期 実績	2027年３月期 見込	増減	2027年３月期 計画	増減
営業収益	**6,554**	**6,730**	176	6,730	-
営業利益	**718**	**720**	2	720	-
経常利益	**688**	**635**	▲53	635	-
親会社株主に帰属する当期純利益	**556**	**560**	4	560	-

※2027年３月期計画は2026年４月30日公表ベース

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

Ⅰ．決算サマリ　2027年3月期 セグメント別通期見通し

	単位：億円	2026年3月期 実績	2027年3月期 見込	増減	増減理由	2027年3月期 計画	増減
運輸事業	営業収益	2,186	2,237	51	●鉄道業、バス・タクシー業で増収	2,214	23
	営業利益	276	244	▲32	●鉄道業における減価償却費増等があり、減益	243	1
レジャー事業	営業収益	1,895	1,913	18	●ホテル業、スカイツリー業を中心に増収	1,992	▲79
	営業利益	184	185	1	●旅行業の減益はあるが、前年並みの利益を確保	193	▲8
不動産事業	営業収益	590	641	51	●賃貸業、スカイツリータウン業で増収増益	632	9
	営業利益	158	160	2	●分譲業の減益はあるが、増益を確保	158	2
流通事業	営業収益	1,761	1,773	12	●百貨店業を中心に増収増益	1,754	19
	営業利益	60	92	32	●ストア業の利益率改善、新東武カード発行費用減等も加わり、増益	80	12
その他事業	営業収益	926	969	43	●完成工事増等により、増収	950	19
	営業利益	69	64	▲5	●工事の利益率低下等を織込み、減益	71	▲7
調整額	営業収益	▲806	▲803	3		▲812	9
	営業利益	▲30	▲25	5		▲25	-
合計	営業収益	6,554	6,730	176		6,730	-
	営業利益	718	720	2		720	-

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

Ⅱ.資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

Ⅱ.資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

株主還元

基本方針

自己資本比率30%以上を維持しつつ、中期経営計画期間中（2024～2027年度）は、配当と機動的な自己株式取得により総還元性向50%を目指すとともに、2028年度以降は利益成長を踏まえ、さらなる拡充を検討

配当

配当金を断続的に増額（2022年度から5年連続で増配）

- 2026年度計画：年間75円（前年度比5円の増配予定）

自己株式取得

株価や財務状況等を総合的に勘案して実施

資本効率向上

政策保有株式、資産縮減による安全投資・成長投資・株主還元への再配分（2026年度上期実績）

- **政策保有株式売却　120億円**
- **保有資産売却　45億円**

株主資本コストを超えるROE（2026年度計画）

- **目標（～2030年代半ば）**

8%以上の維持・向上

- **計画（2026年度）**

8.9%

- **CAPM（資本資産評価モデル）に基づく当社の株主資本コスト（足元）**

① リスクフリーレート 3.1%程度 ＋ ② ベータ(β)感応度 0.6程度 × ③ 市場リスクプレミアム 5.8%程度 ＝ **株主資本コスト 6～7%程度**

※①リスクフリーレート＝新発10年国債利回り
②ベータ（β）感応度＝株式市場全体に対する当社株価の感応度
③市場リスクプレミアム＝過去の株式市場利回り－リスクフリーレート

市場の期待はより高い水準と認識

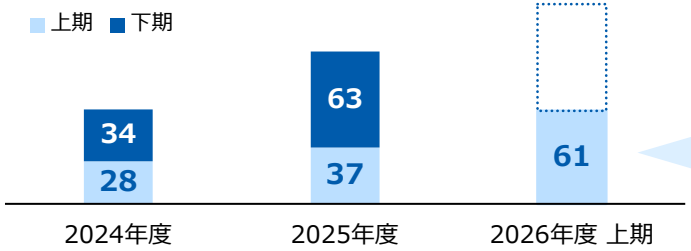
資本市場とのさらなる対話強化（上期実績）

① **四半期決算毎の決算補足説明開催**

② **海外IRの実施**

- 7月に台湾にて実施
- 今後も継続的に実施していく予定

③ **機関投資家・アナリストとの面談**



上期時点の対前年 +24件

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

Ⅲ.長期経営ビジョンの実現・中期経営計画の推進

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

長期経営ビジョンの実現に向けた重点事業の着実な実施と事業ポートフォリオの最適化

中期経営計画で掲げる2027年度の営業利益740億円を達成した上で、観光事業・まちづくりの加速や東京メトロ有楽町線との新たな相互直通運転等の実現を通じ、2030年代半ばに1,000億円以上の営業利益へ

■ 基本方針

長期経営ビジョン

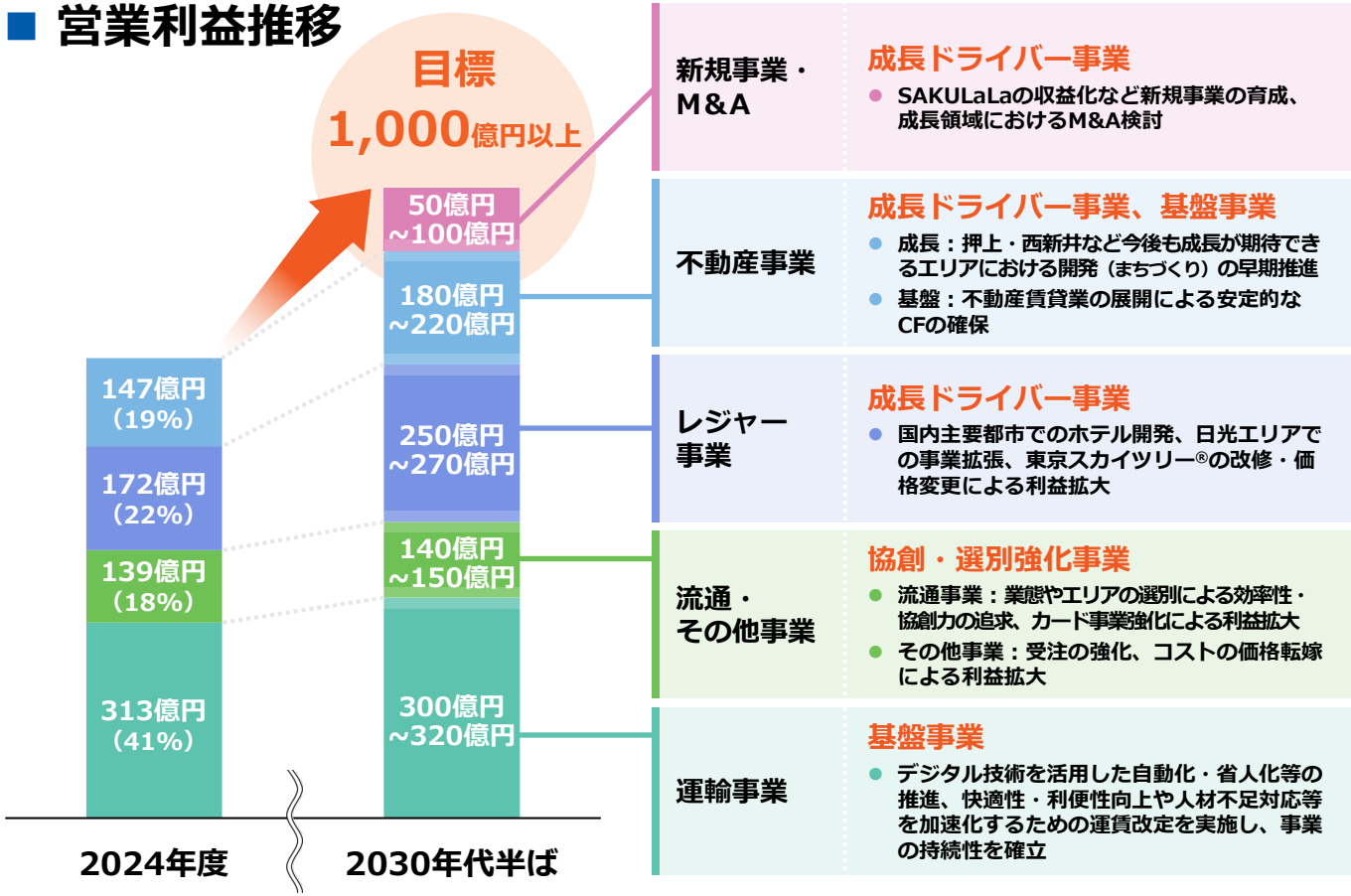
「挑戦と協創で進化させる社会と沿線」

事業環境やニーズ変化を進取する **挑戦** × 関係者との協力・連携で価値創出する **協創**

注力するポイント

1. 営業利益段階における非鉄道事業割合の増加
2. 観光需要を捉えた収益力強化
3. 持続的な事業運営体制の確立

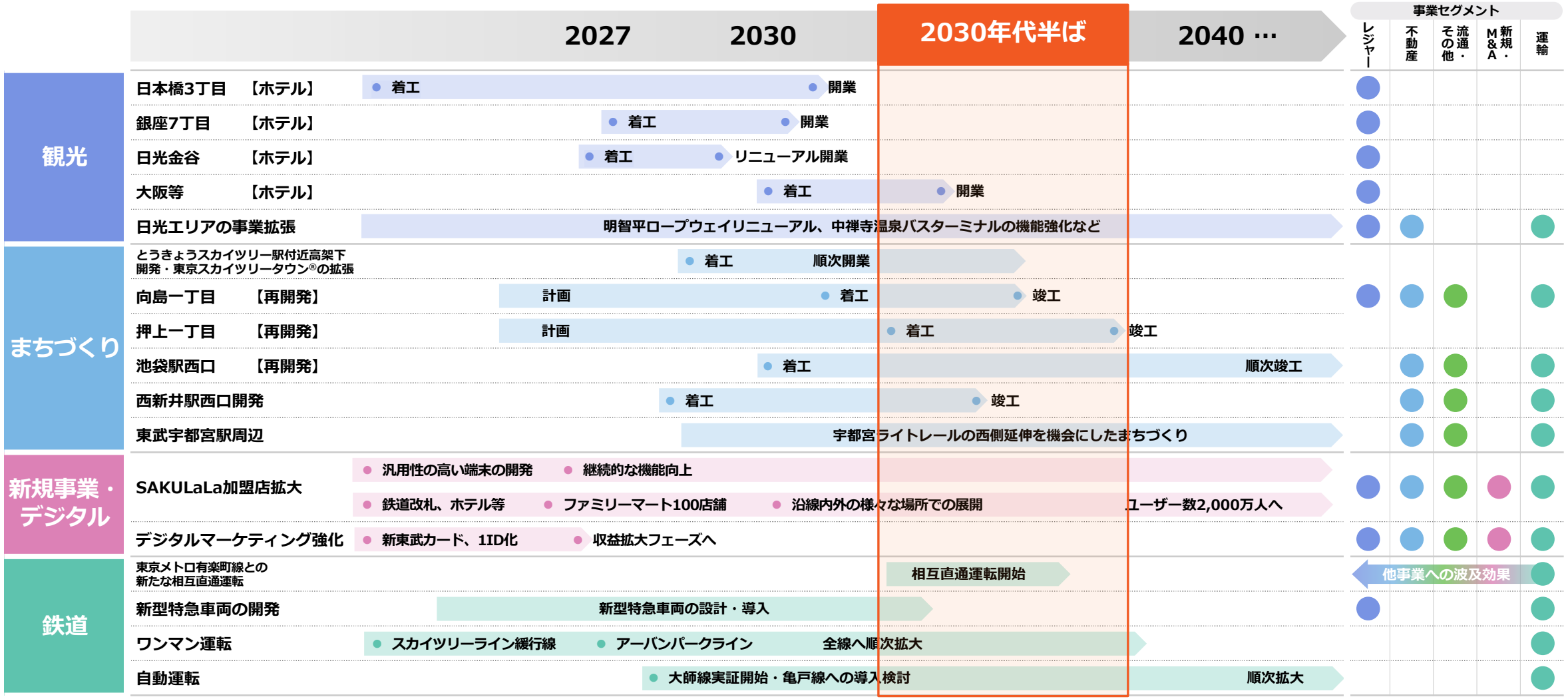
■ 営業利益推移



All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

Ⅲ.長期経営ビジョンの実現・中期経営計画の推進

長期経営ビジョンの実現に向けた主要プロジェクト



All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

Ⅲ.長期経営ビジョンの実現・中期経営計画の推進

多様な観光資源と事業基盤を活かし、国内外の観光需要をグループ全体の成長へ

地域とともに観光価値を創出、観光需要を沿線全体の消費へ展開

● **沿線に広がる多様で訴求力のある観光資源**

日光
年間1,000万人超が訪れる
世界有数の歴史・自然観光地

両毛
自然・花・食など地域と連携した
体験型観光の拡大余地を有する観光拠点

川越
年間700万人が訪れる首都圏有数
の歴史・文化観光地



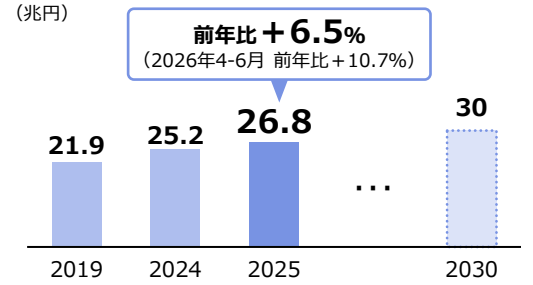
東京スカイツリータウン®
浅草
いずれも年間3,000万人超が訪れる
東京東部の観光ゲートウェイ

● **地域と協創し観光価値を創出、東武沿線全体の需要拡大へ**

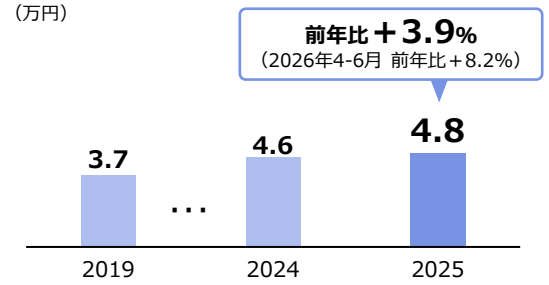


成長が続く国内外の観光需要

日本人の国内旅行消費額

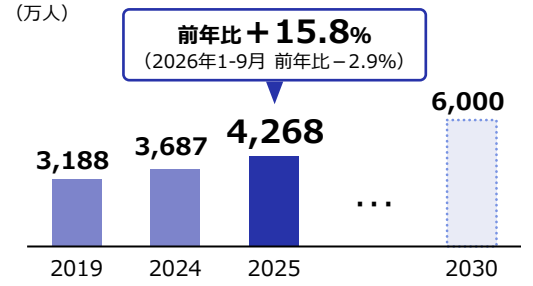


日本人の国内旅行単価

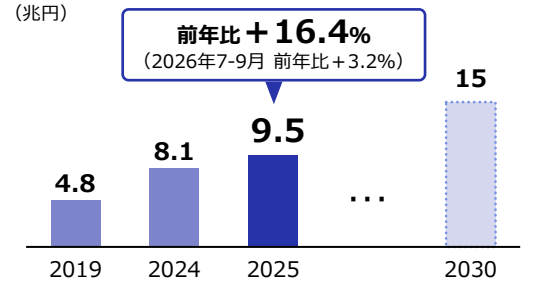


国内観光は、消費額・旅行単価ともに堅調

訪日外国人旅行者数



訪日外国人旅行消費額



インバウンドは、高水準の需要とさらなる成長余地を見込む

出典：実績-観光庁 旅行・観光消費動向調査、インバウンド消費動向調査　日本政府観光局(JNTO) 訪日外客統計　速報値含む
目標-国土交通省観光立国推進基本計画

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

Ⅲ.長期経営ビジョンの実現・中期経営計画の推進

戦略的なエリア展開と効率的な運営を実施し、インバウンド需要も取り込み、2030年代半ばまでに営業利益120億円を目指す

■ ホテル業の今後の成長に向けた方向性

重点エリアへの出店を重ね、収益力・運営効率を向上

● **既存2館の運営部門共通化により、単館運営を上回るコスト削減を実現**



近接する**「コートヤード・マリオット銀座東武ホテル」**と**「ACホテル・バイ・マリオット東京銀座」**

＋

新規2ホテル開業

日本橋3丁目計画	・2032年度開業 ・東京駅至近 ▶ **既存施設解体完了後着工へ**
銀座7丁目計画	・2031年度開業 ・既存2館至近

隣接2ホテルとの一体運営により
オペレーションの最適化と収益の最大化を実現
競争力・ブランド力を強化し同エリアでの
プレゼンス向上およびさらなる需要獲得を目指す

国内の高単価エリアへ進出し確実な収益化

● **福岡県、大阪府など確実に収益が見込めるエリアにフォーカスして展開**

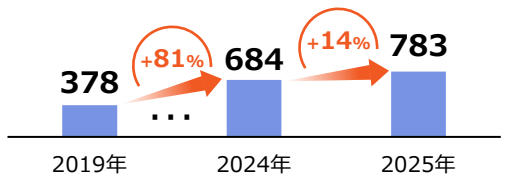
都道府県別訪日外国人の訪問率ランキング（2025年）

1位	東京都	50.8%	4位	京都府	29.7%
2位	**大阪府**	**41.3%**	**5位**	**福岡県**	**11.0%**
3位	千葉県	35.1%		：	

出典：日本政府観光局（JNTO）

福岡県

外国人延べ宿泊者数（万人泊）



出典：日本政府観光局（JNTO）

今後の需要見込み

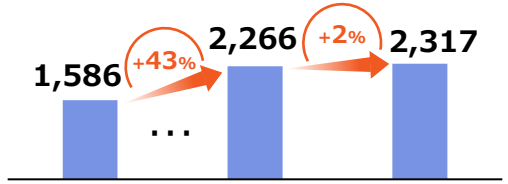
- 半導体工場進出等を背景とした交流人口の拡大
- 大型集客施設でのイベント開催を背景とした宿泊・観光需要の拡大

進捗状況

- 用地取得済
- 解体工事中

大阪府

外国人延べ宿泊者数（万人泊）



出典：日本政府観光局（JNTO）

今後の需要見込み

- 大阪IR計画
- なにわ筋線開業

進捗状況

- 用地取得済

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

Ⅲ.長期経営ビジョンの実現・中期経営計画の推進

東京スカイツリー®の快適性向上と集客力強化を推進し、さらなる成長を実現

高い集客力を基盤に、価格最適化と多彩な集客機会の創出を進め、
天候による入場者数への影響を補うとともに、物販を中心に売上を伸ばし、前年を上回る収入を確保

需要に応じた価格最適化による収益拡大と顧客満足度向上

- 変動価格制による入場者の分散化

12月						
日	月	火	水	木	金	土
13 ¥4,000	14 ¥3,400	15 ¥3,400	16 ¥3,200	17 ¥3,400	18 ¥3,400	19 ¥4,000
20 ¥4,000	21 ¥3,400	22 ¥3,400	23 ¥3,800	24 ¥3,800	25 ¥4,000	26 ¥4,400
27 ¥4,400	28 ¥4,400	29 ¥4,400	30 ¥4,400	31 ¥4,400		

コンテンツ強化による入場者拡大と収益向上

- コラボイベント・季節のイベントの実施



©nagano ©ナガノ / 2026「映画ちいかわ」製作委員会 ©TOKYO-SKYTREE



©TOKYO-SKYTREE

- 「LOOK UP CAFE TOKYO SKYTREE」のOPENによる顧客体験の向上



©TOKYO-SKYTREE



©TOKYO-SKYTREE

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

Ⅲ.長期経営ビジョンの実現・中期経営計画の推進

持続可能な地域づくりで日光のブランド力を強化し、エリア収益200億円（2025年度：171億円）を目指す

春・夏

新緑・異国情緒・避暑

- サイクリング
- クルージング
- ハイキング



秋

首都圏屈指の紅葉

- 華厳の滝・竜頭の滝
- 奥日光の湿原
- 明智平

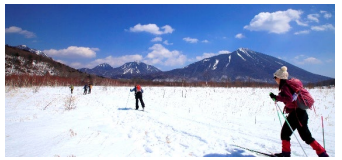




冬

パウダースノーと白銀の大自然

- スノーアクティビティ
- 氷瀑トレッキング



通年

世界遺産と歴史文化

- 二社一寺
- 門前町の食文化
- 歴史ある温泉



日光市の観光客入込数（2025年）

1,073万人

» 2年連続1千万人超え

日光市の宿泊客数（2025年）

310万人

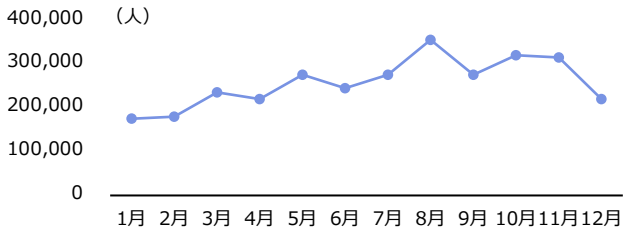
» 宿泊需要への取り込みを強化

日光市の外国人宿泊者数（2025年）

18万人

» インバウンド需要への取り込みを強化

日光市の宿泊者数 月別推移（2025年）



» 潜在需要期の取り込みを強化

出典：日光市　日光市観光客入込数・宿泊数調査結果

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

Ⅲ.長期経営ビジョンの実現・中期経営計画の推進

日光エリアをさらなる国際観光地へ進化させ、収益力強化と地域課題の解決を実現

グループ収益力強化

● 潜在需要期の誘客加速

- 湯元温泉でのスノーアクティビティ商品造成等を実施、ASEAN・台湾のインフルエンサーを招致し、閑散期である冬の日光をPR
- 地域滞在消費額の向上を目指す



● バスターミナルと自然博物館の連携

- 隣接する栃木県立日光自然博物館と一体改修
- 物販や軽飲食店舗を誘致し賑わいを創出することで、エリアの玄関口としての施設機能・情報発信を強化



● 明智平周辺の再整備

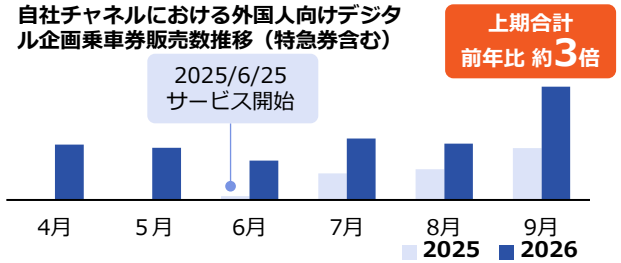
- 明智平の認知度向上と目的地化を目指し、ロープウェイのリニューアルと展望台の大規模拡張を実施





● デジタル企画乗車券の自社チャネル活用

- 台湾・在留外国人向けの販売を強化し、自社チャネルのさらなる利用率増を目指す



持続可能な地域づくり

● 官民連携によるサステナブルツーリズム推進

- 紅葉期の需要分散と公共交通の利用促進を通じ、混雑緩和と環境負荷低減を目指す

官 民	民	官
需要の分散促進を事前発信	観光コンテンツ造成	自治体による渋滞緩和のための社会実験
・日程をずらす ・時間をずらす ・公共交通を利用する	・夜行列車＋早朝バス ・早朝紅葉鑑賞ツアー ・サンセットクルーズ	・いろは坂上の交通規制（中宮祠二荒橋前交差点右折禁止化）

オフピーク観光の推進
ゆったり快適な観光で満足度を向上

● 脱炭素化の推進

- 中禅寺金谷ホテル・光徳牧場での太陽光パネルや温泉熱暖房の整備を推進
- 2030年までに奥日光エリアのグループ施設へCO_2フリー電力を導入



All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

Ⅲ.長期経営ビジョンの実現・中期経営計画の推進

観光収益拡大に向けた基盤構築を進め、さらなる利益成長へ

アップセル・クロスセル推進策を展開

- 2026年10月、栃木県でオーストラリア市場向けゴルフツーリズムFAMツアーを開催
- 台湾などターゲット市場への高付加価値商品を造成し、交通・ホテルとの連携で収益を拡大



両毛エリアにおけるインバウンド向け商品拡充

- あしかがフラワーパークへの誘客を強化し、関心の高い台湾市場をターゲットに商品を造成
- 鉄道と観光を組み合わせ、両毛エリアへの誘客と沿線収益を拡大



クルーズツーリズムの誘致を通じた地域消費拡大

- 東京・横浜港発着クルーズの富裕層に、歴史・文化・自然を有する日光・鬼怒川エリアを訴求
- 新規顧客の獲得により、高単価消費を創出

（国土交通省補助事業に採択）



オープンイノベーションの推進

- 外部企業との事業共創プログラム「TOBU Open Innovation Program」を推進
- ゆにガーデン（北海道由仁町）で三輪モビリティ「ストリーモ」を試験導入し、新たな観光体験を創出



沿線地域の交流機会を創出する子ども体験プログラム

- 群馬県太田市、埼玉県小川町等で、沿線地域の歴史・文化・自然体験イベントを実施
- 2026年「第10回 ジャパン・ツーリズム・アワード」にて「審査委員特別賞」を受賞



All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

Ⅲ.長期経営ビジョンの実現・中期経営計画の推進

沿線価値向上と事業基盤拡大を実現する不動産事業

賃貸業の強化

- 計画的なリニューアルとテナント入替
- コスト管理による利益率向上

住宅分譲

- 沿線人口増加とグループ収益拡大に資する継続的な住宅供給



再開発・まちづくりの推進・参画

- 東京スカイツリータウン®、池袋駅西口、西新井駅西口等のプロジェクト推進
- 賃貸床の取得による安定収入の拡大
- 分譲床の取得による短期収入の確保

保有資産の資産回転率向上

- 採算性やグループシナジーが低い資産の精査と売却による再投資

投資効率向上・事業収益の拡大

- 不動産証券化案件へのエクイティ投資
- 短期投資回収型事業への参画機会拡大

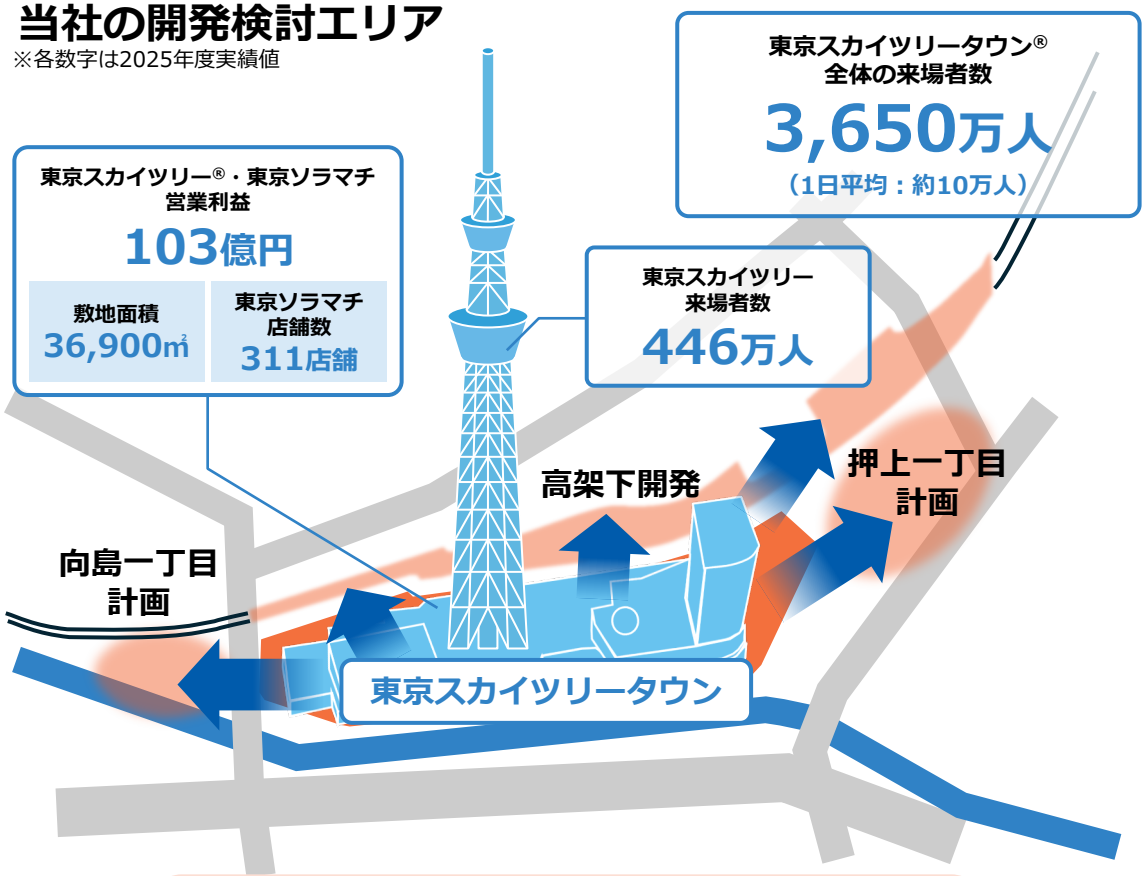
All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

Ⅲ.長期経営ビジョンの実現・中期経営計画の推進

グループシナジー効果を追求し、さらなる成長を実現するスカイツリータウンエリアの拡張

■ 当社の開発検討エリア

※各数字は2025年度実績値



2030年代半ばに向けエリア拡張計画進行中

スカイツリータウンエリアが約2倍に

■ エリアをめぐるさらなる価値向上

成田空港発着枠の増加
- 滑走路延伸や新設計画、発着枠増加による旅客受入能力拡大

鉄道アクセスの強化
- 東武スカイツリーラインと東京メトロ有楽町線との新たな相互直通運転、押上～成田空港間有料特急計画（京成電鉄）による広域からの来場者増

観光市場の拡大
- 政府のインバウンド6,000万人目標
- 国際観光拠点かつ『歴史がある、新しいまち浅草』とも至近

■ エリア拡張計画

計画概要と開発ロードマップ（予定）

		2025年度	2026年度	…	2028年度	…	2030年度	…	2030年代半ば
とうきょうスカイツリー駅付近高架下開発	高架化を活用し東京スカイツリータウンを拡張				高架化工事完了		順次店舗工事着工、開業		全面開業
向島一丁目	エリアの価値を高めるまちづくり		行政協議	準備組合（予定）			都市計画手続き		竣工
押上一丁目	ラグジュアリーホテルや住宅開発等を想定		2026年3月22日準備組合設立				都市計画手続き		竣工

投資額想定
約800億円

連結全体での利回り
6%以上を目指す

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

Ⅲ.長期経営ビジョンの実現・中期経営計画の推進

池袋駅西口再開発プロジェクトの推進により 当社主要拠点の池袋に加え、東上線全体をバリューアップ

■ 池袋駅西口再開発が目指す姿

交通・商業・文化が集積する池袋の都市的特性と 当社グループの経営資源を活かし、西口の新たな価値を創出

池袋の ポテンシャル

- **世界有数の交通結節点**
  - 4社8路線が乗り入れ
  - 1日約230万人が利用するターミナル駅
- **多様な都市機能の集積**
  - 商業・芸術・文化・教育・エンタメ等の各機能が駅周辺に集積

×

池袋駅西口再開発事業の 整備内容

- **駅前交通機能のさらなる強化**
- **連続的な歩行者空間の整備**
- **業務・商業・宿泊施設・ 住宅等の多様な用途の整備**
  - 国内外からの新たな来街者を創出

再開発により見込める効果

- **東武ならではの「駅とまちが有機的に結びつくまちづくり」の実現**
- **百貨店・ビル管理・熱供給事業等のグループシナジーの拡大**
- **東武グループの収益基盤強化と沿線価値向上**
- **池袋の都市間競争力の強化と東上線沿線全体への波及効果の創出**

■ 計画概要



当社単独施行街区

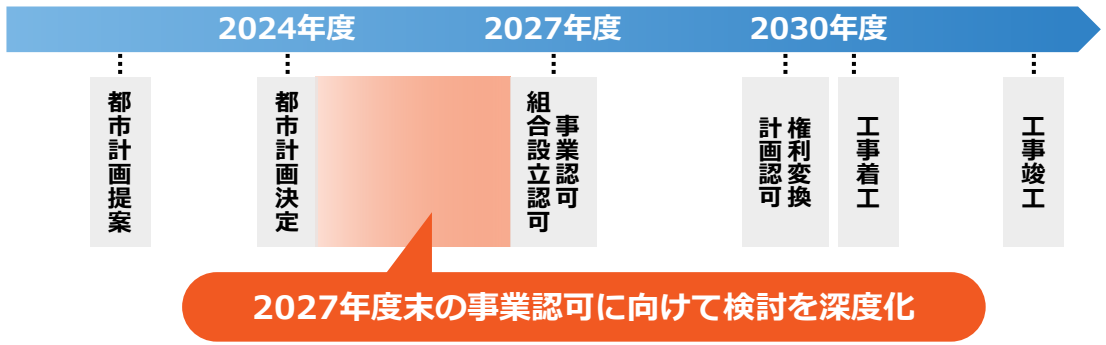
- アトリウム空間の整備
- 東上線上空広場整備
- 池袋駅の3面4線化



▲当社単独施行街区イメージ

池袋エリア内の回遊性向上と 沿線内外からの人流の創出を実現

■ 完成までのロードマップ



All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

Ⅲ.長期経営ビジョンの実現・中期経営計画の推進

競争力の高い賃貸アセットの磨き上げによる利益成長の牽引

■ 駅ナカ・駅ビル・商業施設のリニューアル戦略

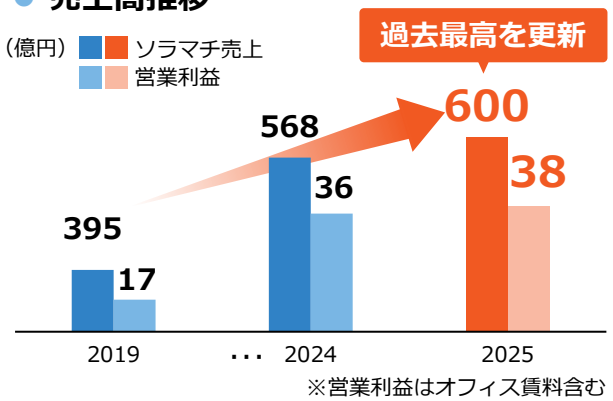
01 リニューアルによる収益向上
施設の鮮度および機能向上を通じ、集客とテナントと相互の収益向上を実現

02 戦略的な賃貸条件の設定による収益向上
売上連動型の賃貸条件を設定することで、継続的な収益向上を実現

03 沿線人口集積地を中心とした資本投下
人口や鉄道利用が集中するエリアに積極的に投資し、収益の最大化と沿線の持続的な成長を推進

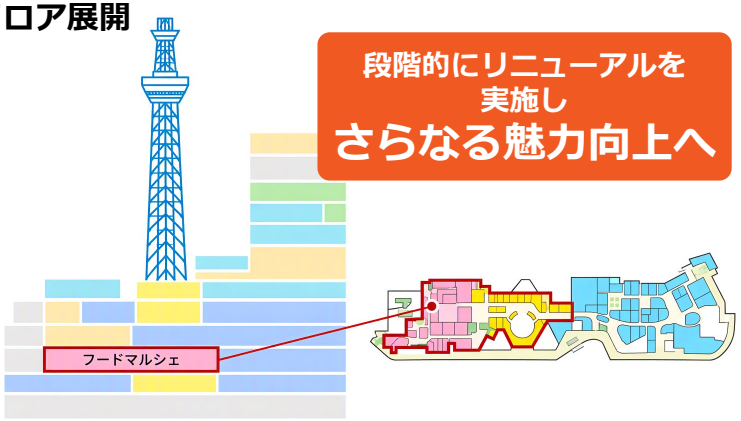
■ 東京ソラマチのさらなる価値向上を推進

● 売上高推移



※営業利益はオフィス賃料含む

● フロア展開



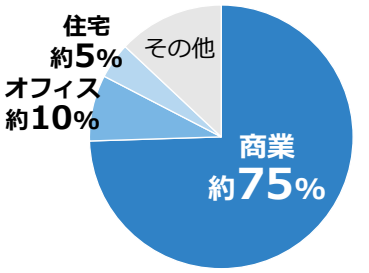
■ 鉄道利用の集中するエリアに効率的に商業施設を新設・リニューアル

● 東武鉄道沿線の商業施設



● 東武鉄道賃貸業収入構成比

売上の多くを占める商業賃貸を中心に売上成長を取り込み、オフィス・住宅等も**賃料適正化を推進**



※2025年度実績を元に算出

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

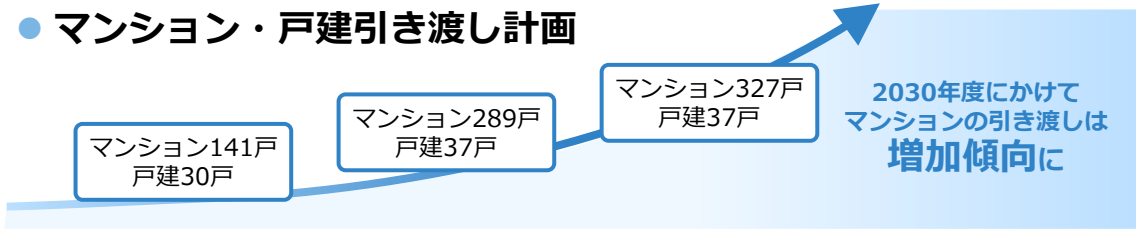
Ⅲ.長期経営ビジョンの実現・中期経営計画の推進

分譲・投資を通じた、沿線基盤の強化と収益源多様化

沿線基盤の強化

● 住宅分譲
- 定住化の促進と沿線人口の増加
- 鉄道をはじめとするグループ収益の拡大

● マンション・戸建引き渡し計画



収益源多様化への挑戦

● 短期投資回収型事業

開発・運営・売却を通じた利益の獲得と事業領域の拡大
- 一棟建て賃貸マンションの建設と売却（墨田区）
- 物流倉庫（白岡市（埼玉県））や商業施設（大阪市）を開発中

● エクイティ投資

賃貸不動産への共同出資による投資機会の拡大と資本効率の向上
- 商業施設（墨田区）への出資



外観イメージCG（物流倉庫）
※今後変更となる可能性がございます

成長投資戦略

投資・開発・売却を繰り返しながら
ノウハウを蓄積し、持続的な利益成長を実現



All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

Ⅲ.長期経営ビジョンの実現・中期経営計画の推進

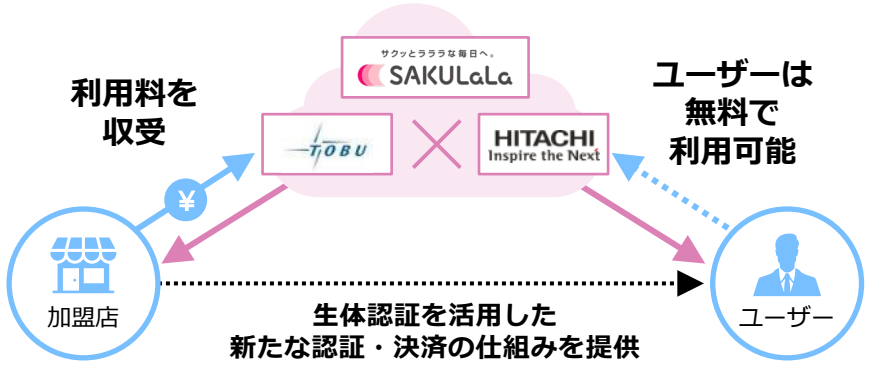
新たな事業領域を拡張するデジタルプラットフォーム事業の推進による収益拡大

■ SAKULaLaとは

- 日立製作所との共同事業として推進する、生体認証を活用した
  デジタルアイデンティティの共通プラットフォーム事業
- デジタルを活用した社会インフラとして、デジタル利用の年代間格差や、
  非常時の本人確認など、様々な社会課題を解決

■ ビジネススキーム

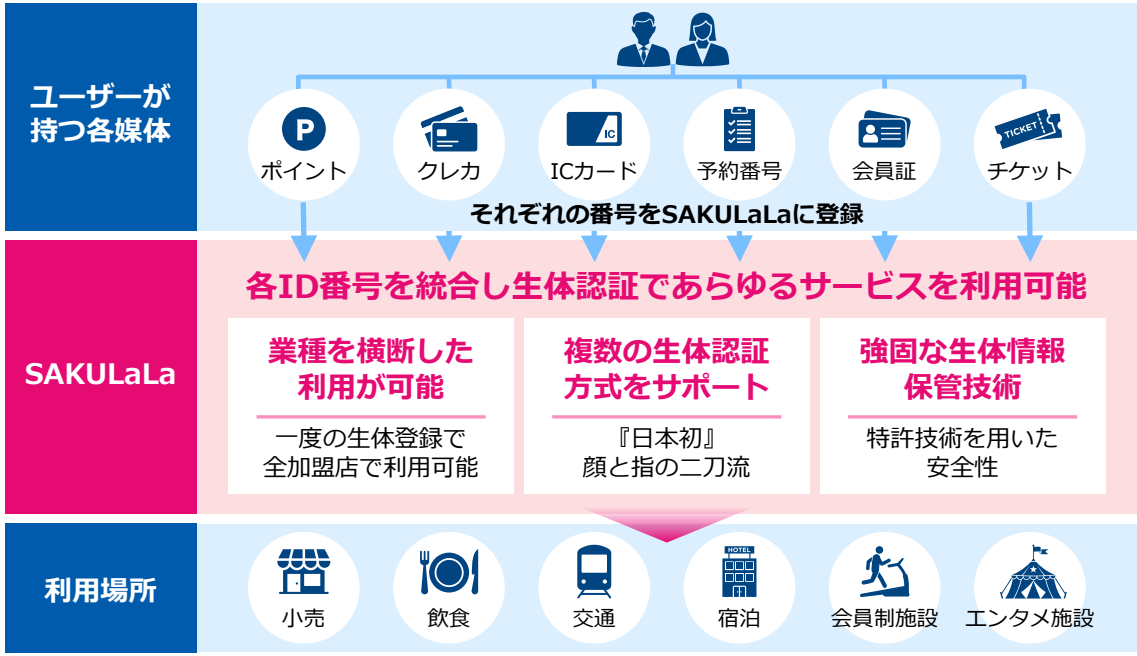
- 加盟店から生体認証利用料を収受するビジネスモデル



■ 目標数値（2030年代半ば）

会員数	営業利益
2,000万人	50億円以上

■ 仕組みと強み



■ 推進戦略

スピーディーに加盟店を拡大するための
システム面の強化

顔認証機能の追加や全国に設置されている
汎用端末への導入

特定エリアでの面的な展開を狙った
ドミナント戦略

関東圏・大阪圏・福岡圏を重点エリアと定め、
加盟店開拓を推進

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

SAKULaLaの社会インフラ化に向けた2026年度の展開状況

汎用性の高い端末への機能搭載

沿線だけでなく、
日本全国へ拡大するための仕組みを構築

● 自動改札機

- 既存改札機に顔認証カメラを追加設置
  改札機本体の入替を伴わず導入コスト・工期を抑制して対応
- 改札機メーカー3社の改札機に共通の仕様での設置も可能



● レジ等での決済端末

- 既存の汎用決済端末（JET-S端末）への機能追加により顔認証決済に対応
- **新たな専用端末の購入が不要**



ドミナント戦略による面的な展開

当社最大のターミナルである池袋をモデルケースとして
グループ内外の重点エリアに展開



TJライナー
2026年11月導入

池袋で
SAKULaLa
導入・展開



鉄道改札
2026年7月導入



百貨店決済
2026年11月導入（予定）

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

Ⅲ.長期経営ビジョンの実現・中期経営計画の推進

デジタルマーケティングの強化による グループ全体の収益性向上

TOBU POINT会員を通じた収益向上

- TOBU POINTを通じて東武グループ全体の顧客基盤を強化

グループロイヤル顧客の拡大



新東武カードの状況（2025年5月より発行）

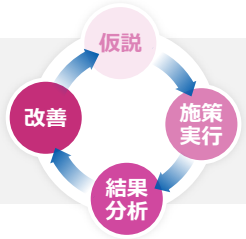
- 会員全体の稼働率・単価は、旧カード比約40%増
- 鉄道定期券やSAKULaLaなど東武グループの顧客基盤と連携した年会費無料条件などの設定
- ジェーシービーの基盤を活用し、多様なニーズに応じたファイナンスサービスを提供

グループ横断のデータ利活用推進

- 東武グループが保有する一元化された「移動・属性・購買」のデータを、各社間で共有・活用するマーケティングを推進し、収益性向上へ

16社が参画する データ利活用ワーキング





収益機会の拡大を推進

- 新規顧客獲得
- 顧客単価向上
- 利用頻度向上

SkyDriveへの出資で 次世代モビリティを推進

東武トップツアーズのネットワーキングと 東武鉄道の生体認証（SAKULaLa）を活用

関東における“空飛ぶクルマ”の社会実装を目指し 東武グループとSkyDriveとで事業連携を推進



All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

Ⅲ.長期経営ビジョンの実現・中期経営計画の推進

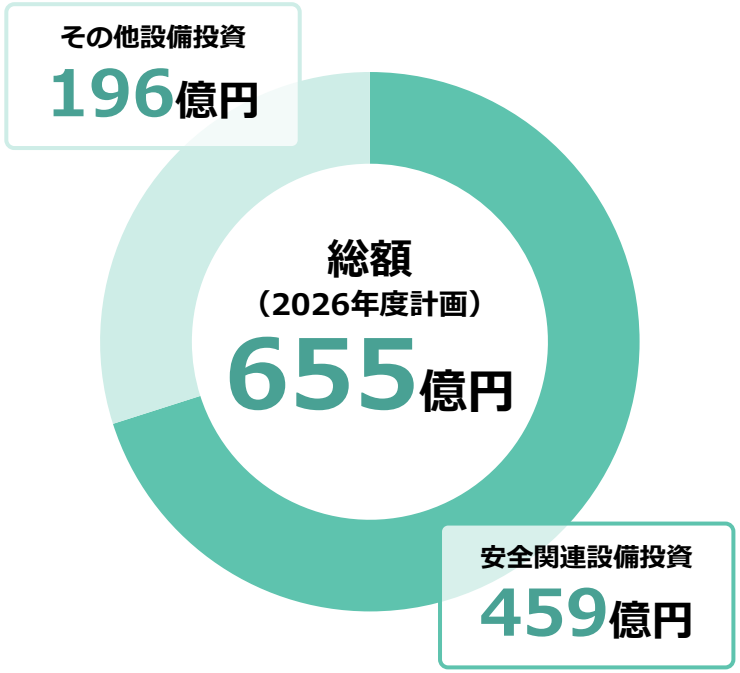
安全対策を強化し、より安心してご利用いただける鉄道に

■ 安全投資計画

2026年度

459億円の安全投資を実施

（鉄道設備投資全体の約7割）



■ 安全・安心の持続的提供を推進

鉄道立体化の推進

渋滞や事故の解消、都市の活性化を目的に推進



▲ とうきょうスカイツリー駅付近



▲ 春日部駅付近

ホーム柵の整備

86駅の優先整備駅を定め整備を推進

2026年度4駅でホーム柵（可動式）使用開始予定



▲ ホーム柵（可動式）

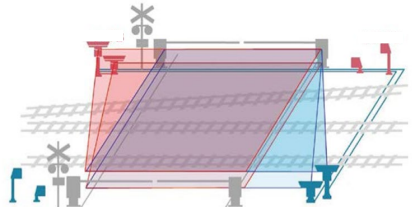
作業現場の安全性の向上

線路付近の作業員に列車の接近を知らせる警報装置の導入を拡大



踏切の安全性の向上

踏切内の異常を検知し、運転士に知らせる装置の検知範囲を拡大



▲ 上部・下部2層検知可能な踏切支障報知装置（イメージ）

自然災害対策の強化

高架橋柱等耐震補強、法面改修工事などの防災対策工事を推進



▲ 高架橋柱等耐震補強



▲ 法面改修

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

Ⅲ.長期経営ビジョンの実現・中期経営計画の推進

快適性向上・省人化・デジタル化を推進し、持続可能な鉄道サービスを実現

快適性・利便性向上

● 新たな特急車両の設計開始

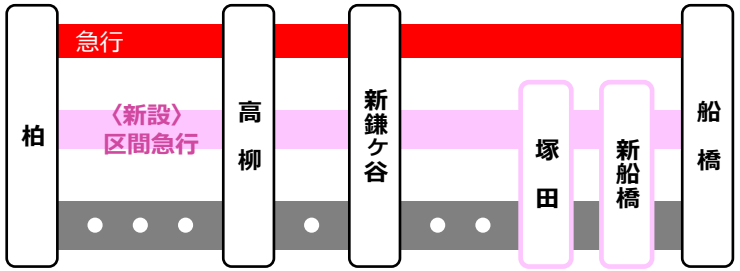
- 2029年度の導入に向け、100系スペーシア、200系りょうもうの役割を担う新たな特急車両の設計を開始



▲ 新型特急車両（イメージ）

● 東武アーバンパークラインの快適性向上

- 朝ラッシュ時の柏～船橋間に新種別「区間急行」を設定
- ピーク時間帯の本数増とあわせて混雑の平準化・緩和を推進



環境負荷低減・省人化による持続性向上

● 東上線新型車両の営業運転開始

- 2026年9月より90000系の営業運転を開始
- 9000系比40%超の省エネ性能を実現し、環境負荷低減と運行コスト抑制を実現
- デザイン性によりグッドデザイン・ベスト100受賞



▲ 新型車両90000系

● 東武アーバンパークラインのワンマン運転導入

- 2027年3月より柏～船橋間でワンマン運転を導入
- **当社営業キロのうち、65%でワンマン運転を実施**

デジタル化・運営効率化

● 持続可能な乗車券システム構築

- 2027年3月より、磁気乗車券をQR乗車券に移行
- ICカードによるシームレス利用を主体としつつ、企画乗車券・普通乗車券のQR化を推進
- 利便性向上と持続可能な鉄道運行サービスを実現



▲ 普通乗車券（イメージ）



▲ デジタル企画乗車券（イメージ）



▲ 自動改札機（イメージ）

快適性と利便性の向上・環境負荷低減・人材不足対応を推進、早期の運賃改定を目指す

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

Ⅳ.持続可能な経営の実現に向けて

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

Ⅳ.持続可能な経営の実現に向けて ― 人材戦略のアプローチ施策

経営戦略と連動した採用、育成、能力発揮・定着を強化し持続的成長を支える人材戦略を遂行

‥ 人材戦略方針 ‥

生産性向上の追求　**新たな価値の創造**　**安全文化の創造**

‥ 人的資本を強化する制度基盤・戦略基盤整備 ‥

採用

- **採用チャネルの拡大**
  - 新卒・経験者・アルムナイに加え、非鉄道領域で活躍する専門的人材の採用へ
  - 特定技能外国人の定期的な採用による人材確保（2期生採用活動に着手）



- **キャリア選択の拡充**
  - 鉄道現業職人材を経営基幹職に登用する「コース転換制度」を新設予定

育成

- **自律的・主体的なキャリア形成支援**
  - ビジネススクールやオーディオブック等、自己啓発プログラムの拡充
  - OJTとOff-JTを連動させた教育体系の構築
- **グループ全社での人材育成**
  - 「人づくり」「組織づくり」の起点となる管理監督者研修の実施
  - 全社共通の教育「グループ基礎知識研修」の新設

能力発揮・定着

- **能力を最大限に発揮するためのワークスタイル・制度基盤整備**
  - 評価制度見直し、タレントマネジメントシステム導入、定期的な面談の制度化
  - 定年を65歳に延長し、65歳以降70歳までを対象とした継続雇用制度の導入
  - 人事賃金制度の見直し
  - 育児・介護・自身の健康との両立支援に資する制度の拡充
- **人と組織の力を引き出す戦略基盤整備**
  - ビジョンや戦略に基づき、当社・各事業部門において必要な求める人材要件定義に着手
  - 価値創造業務への人的リソース再配分に向けた作業方法の組み立て直し（業務の標準化、AIやデジタル技術を活用したワークフローの自動化、データの戦略的活用など）

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

独立性と実効性を両立する コーポレート・ガバナンス体制の強化

社外取締役過半数化による監督機能の強化

- 2026年6月より社外取締役の比率を60%に引き上げ
- 事業運営に精通する社内取締役と、経営の公正性かつ透明性確保に資する独立社外取締役により、企業価値向上を図る
- 「指名・報酬委員会」および「ガバナンス委員会」の両議長を社外取締役が務め、モニタリング機能の強化・充実、公正性を確保

■ 取締役会の構成推移

区分	2017	2018	2019	2020	2022	2023	2026
社内	14名	7名	8名	8名	7名	5名	4名
社外	2名	2名	2名	4名	4名	4名	6名
社外取締役の割合	12.5%	22.2%	20.0%	33.3%	36.3%	44.4%	60.0%
うち女性	1名	0名	0名	1名	1名	1名	2名

※ 株主総会終結時の人数

CO_2排出量削減による持続可能な 社会構築と企業の成長を両立

CO_2排出量目標を早期に達成見込み

- 省エネ車両への置換に加え、2026年4月より東武線全線の電車・駅施設の電力を、再生可能エネルギー由来の電力に置き換え、電車運行に関わるCO_2排出量を実質ゼロに
- グループ目標である2030年度のCO_2排出量目標（2022年度比30%削減）を早期に達成する見込み



▲東武アーバンパークラインの省エネ化に貢献する80000系車両



▲グループ施設から生じた廃食油由来のバイオディーゼル燃料混合軽油で運行する東武バス日光の路線バス

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

appendix

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

2027年3月期 2Q(中間期)実績 ― 連結子会社・持分法適用会社数

連結子会社数	2026.3	増加	減少	2026.9	備考
運輸事業	27	-	3	24	2026.4　東武インターテック㈱、東武エンジニアリング㈱、東武ステーションサービス㈱ 東武鉄道㈱への吸収合併による減
レジャー事業	14	-	-	14	
不動産事業	3	-	-	3	
流通事業	8	-	-	8	
その他事業	16	-	-	16	
合計	68	-	3	65	

持分法適用会社数	2026.3	増加	減少	2026.9	備考
運輸事業	1	-	-	1	
レジャー事業	2	-	-	2	
不動産事業	-	-	-	-	
流通事業	-	-	-	-	
その他事業	-	-	-	-	
合計	3	-	-	3	

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

2027年3月期 2Q(中間期)実績 ― 連結貸借対照表

単位：百万円	2026/3期末	2027/3期 2Q末	増減	備考
流動資産	194,787	208,469	13,681	
固定資産	1,668,775	1,676,672	7,896	
資産合計	1,863,562	1,885,141	21,578	
流動負債	475,985	472,740	▲3,245	
固定負債	765,350	758,517	▲6,832	
負債合計	1,241,335	1,231,257	▲10,077	
純資産合計	622,227	653,883	31,656	利益剰余金＋23,909
負債純資産合計	1,863,562	1,885,141	21,578	
自己資本比率	33.0%	34.3%	1.3P	
有利子負債残高	789,673	795,747	6,073	

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

2027年3月期 2Q(中間期)実績 ー 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円	2026/3期 2Q実績	2027/3期 2Q実績	増減	備考
営業活動によるキャッシュ・フロー	44,879	32,290	▲12,588	
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲38,252	▲29,839	8,412	固定資産の売却による収入＋4,264
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲7,508	▲1,748	5,759	
現金及び現金同等物の増減額	▲916	716	1,632	
現金及び現金同等物の期末残高	34,019	44,923	10,903	

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

2027年3月期 2Q(中間期)実績 ― 運輸事業

単位：百万円	2026/3期 2Q実績	2027/3期 2Q実績	増減	備考	2027/3期 2Q計画	増減
営業収益	109,402	111,995	2,593		110,900	1,095
鉄道	82,078	83,724	1,646		82,800	924
その他	27,323	28,270	946	バス・タクシー業＋964 貨物運送業　▲14	28,100	170
営業利益	15,997	15,789	▲208		13,700	2,089
鉄道	13,773	13,763	▲9		11,600	2,163
その他	2,224	2,025	▲198	バス・タクシー業▲262 貨物運送業　＋63	2,100	▲75

東武鉄道 旅客人員（単位：百万人）	2026/3期 2Q実績	2027/3期 2Q実績	増減
定期	279	284	1.7%
定期外	166	171	2.9%
（特急）	3	3	1.6%
合計	445	455	2.1%

東武鉄道 旅客収入（単位：百万円）	2026/3期 2Q実績	2027/3期 2Q実績	増減
定期	31,505	31,903	1.3%
定期外	43,230	44,330	2.5%
（特急）	3,655	3,772	3.2%
合計	74,736	76,234	2.0%

※定期外旅客収入は、特急料金、座席指定料金を含む。

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

2027年3月期 2Q(中間期)実績 ー レジャー事業

単位：百万円	2026/3期 2Q実績	2027/3期 2Q実績	増減	備考	2027/3期 2Q計画	増減
営業収益	83,628	84,054	425		83,200	854
旅行	51,803	51,217	▲586		50,000	1,217
ホテル	17,399	18,172	773		17,900	272
スカイツリー	8,688	8,845	157		9,200	▲355
その他	5,737	5,819	81	遊園地・観光業 ＋29 スポーツ業 ＋63	6,100	▲281
営業利益	7,986	7,476	▲509		7,800	▲324
旅行	▲57	▲291	▲234		▲500	209
ホテル	3,469	3,409	▲59		3,300	109
スカイツリー	3,850	3,747	▲103		4,100	▲353
その他	723	610	▲112	遊園地・観光業 ▲167 スポーツ業 ＋54	900	▲290

入場者数（単位：万人）	2026/3期 2Q実績	2027/3期 2Q実績	増減
スカイツリー	239	201	▲38

主なホテル稼働率	2026/3期 2Q実績	2027/3期 2Q実績	増減
CY銀座	86.2%	82.6%	▲3.6P
AC銀座	83.7%	79.1%	▲4.6P
錦糸町	90.0%	90.7%	0.7P
成田	88.3%	88.0%	▲0.3P

主なホテル外国人比率	2026/3期 2Q実績	2027/3期 2Q実績
CY銀座	83.8%	87.1%
AC銀座	81.6%	84.3%
錦糸町	84.9%	80.3%
成田	69.6%	66.0%

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

2027年3月期 2Q(中間期)実績 ー 不動産事業

単位：百万円	2026/3期 2Q実績	2027/3期 2Q実績	増減	備考	2027/3期 2Q計画	増減
営業収益	26,635	27,335	699		27,700	▲365
賃貸	17,475	18,703	1,227		18,700	3
タウン	6,766	6,987	220		6,700	287
分譲	2,393	1,644	▲748		2,300	▲656
営業利益	7,259	7,681	422		7,500	181
賃貸	5,057	5,405	347		5,300	105
タウン	2,097	2,174	77		2,100	74
分譲	104	101	▲2		100	1

来場者数 (単位：万人)	2026/3期 2Q実績	2027/3期 2Q実績	増減
スカイツリータウン	1,810	1,799	▲11

分譲販売戸数	2026/3期 2Q実績	2027/3期 2Q実績	増減
戸建住宅	37戸	31戸	▲6戸
マンション	43戸	55戸	12戸
持分換算後分譲販売戸数			
戸建住宅	18戸	13戸	▲5戸
マンション	17戸	24戸	7戸

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

2027年3月期 2Q(中間期)実績 ― 流通事業

単位：百万円	2026/3期 2Q実績	2027/3期 2Q実績	増減	備考	2027/3期 2Q計画	増減
営業収益	86,629	87,556	926		87,100	456
百貨店	30,836	31,811	975		30,400	1,411
ストア	37,425	36,259	▲1,165		36,400	▲141
その他	18,367	19,485	1,117		20,300	▲815
営業利益	3,008	3,942	933		3,600	342
百貨店	2,490	3,129	638		2,500	629
ストア	508	584	76		600	▲16
その他	9	228	218		500	▲272

主要百貨店 売上増減率	2026/3期 2Q実績	2027/3期 2Q実績
池袋	10.6%	4.1%
船橋	0.7%	1.2%
宇都宮	0.3%	▲0.1%

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

2027年3月期 2Q(中間期)実績 ー その他事業

単位：百万円	2026/3期 2Q実績	2027/3期 2Q実績	増減	備考	2027/3期 2Q計画	増減
営業収益	38,230	41,582	3,352		43,600	▲2,018
営業利益	2,112	2,404	291		3,200	▲796

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

2027年3月期 2Q(中間期)実績 ー セグメント別参考数値

単位：百万円	EBITDA			減価償却費			設備投資		
	2026/3期 2Q実績	2027/3期 2Q実績	増減	2026/3期 2Q実績	2027/3期 2Q実績	増減	2026/3期 2Q実績	2027/3期 2Q実績	増減
運輸事業	31,785	32,791	1,005	15,787	17,001	1,214	7,780	12,066	4,286
レジャー事業	11,226	10,903	▲322	3,240	3,427	186	10,193	3,724	▲6,469
不動産事業	12,596	13,146	549	5,337	5,464	126	3,000	1,205	▲1,795
流通事業	4,673	5,399	725	1,664	1,456	▲207	3,019	1,149	▲1,870
その他事業	3,016	3,188	171	904	784	▲120	481	643	162
全体	62,519	64,267	1,747	26,935	28,134	1,199	24,476	18,788	▲5,688

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

2027年3月期 2Q(中間期)実績 ー 四半期別実績

	単位：百万円	2027/3期 1Q実績	2027/3期 2Q実績	2027/3期 2Q累計実績
運輸事業	営業収益	56,117	55,878	111,995
	営業利益	10,262	5,527	15,789
レジャー事業	営業収益	38,648	45,406	84,054
	営業利益	3,831	3,644	7,476
不動産事業	営業収益	13,872	13,463	27,335
	営業利益	3,871	3,809	7,681
流通事業	営業収益	44,304	43,252	87,556
	営業利益	2,390	1,552	3,942
その他事業	営業収益	19,006	22,576	41,582
	営業利益	1,179	1,224	2,404
調整額	営業収益	▲15,655	▲19,098	▲34,754
	営業利益	▲517	▲643	▲1,161
合計	営業収益	156,292	161,477	317,769
	営業利益	21,017	15,115	36,132

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

2027年3月期 通期見通し ー 連結キャッシュ・フロー計画

単位：百万円	2026/3期 実績	2027/3期 見込	増減	備考	2027/3期 計画	増減
EBITDA	127,075	131,000	3,925		131,000	-
営業利益	71,861	72,000	139		72,000	-
減価償却費	55,213	59,000	3,787		59,000	-
有利子負債残高	789,673	800,000	10,327		800,000	-
有利子負債/EBITDA倍率	6.2	6.1	▲0.1P		6.1	-
設備投資	102,713	101,500	▲1,213		104,000	▲2,500

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

2027年3月期 通期見通し ー 運輸事業

単位：百万円	2026/3期 実績	2027/3期 見込	増減	備考	2027/3期 計画	増減
営業収益	218,646	223,700	5,054		221,400	2,300
鉄道	164,272	167,200	2,928		165,300	1,900
その他	54,373	56,500	2,127	バス・タクシー業＋2,076 貨物運送業 ＋ 37	56,100	400
営業利益	27,644	24,400	▲3,244		24,300	100
鉄道	23,583	20,600	▲2,983		20,400	200
その他	4,060	3,800	▲260	バス・タクシー業▲275 貨物運送業 ＋16	3,900	▲100

東武鉄道 旅客人員（単位：百万人）	2026/3期 実績	2027/3期 見込	増減
定期	542	551	1.7%
定期外	335	344	2.7%
（特急）	7	7	2.2%
合計	877	895	2.1%

東武鉄道 旅客収入（単位：百万円）	2026/3期 実績	2027/3期 見込	増減
定期	61,714	62,658	1.5%
定期外	87,593	89,609	2.3%
（特急）	7,609	7,792	2.4%
合計	149,307	152,267	2.0%

※定期外旅客収入は、特急料金、座席指定料金を含む。

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

2027年3月期 通期見通し ー レジャー事業

単位：百万円	2026/3期 実績	2027/3期 見込	増減	備考	2027/3期 計画	増減
営業収益	189,584	191,300	1,716		199,200	▲7,900
旅行	124,034	124,000	▲34		131,600	▲7,600
ホテル	37,456	38,400	944		38,000	400
スカイツリー	16,536	17,300	764		17,900	▲600
その他	11,557	11,600	43	遊園地・観光業 ▲126 スポーツ業 +180	11,700	▲100
営業利益	18,446	18,500	54		19,300	▲800
旅行	2,239	1,900	▲339		2,200	▲300
ホテル	8,350	8,600	250		8,400	200
スカイツリー	6,420	6,800	380		7,200	▲400
その他	1,435	1,200	▲235	遊園地・観光業 ▲271 スポーツ業 +13	1,500	▲300

入場者数（単位：万人）	2026/3期 実績	2027/3期 見込	増減
スカイツリー	446	408	▲38

主なホテル 稼働率	2026/3期 実績	2027/3期 見込	増減
CY銀座	87.1%	84.7%	▲2.4P
AC銀座	83.4%	81.1%	▲2.3P
錦糸町	90.8%	91.0%	0.2P
成田	89.6%	89.1%	▲0.5P

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

2027年3月期 通期見通し ー 不動産事業

単位：百万円	2026/3期 実績	2027/3期 見込	増減	備考	2027/3期 計画	増減
営業収益	59,075	64,100	5,025		63,200	900
賃貸	36,498	40,900	4,402		40,600	300
タウン	13,913	14,300	387		13,900	400
分譲	8,662	8,900	238		8,700	200
営業利益	15,892	16,000	108		15,800	200
賃貸	10,694	11,000	306		10,900	100
タウン	3,886	4,000	114		3,900	100
分譲	1,311	1,000	▲311		1,000	-

来場者数 (単位：万人)	2026/3期 実績	2027/3期 見込	増減
スカイツリータウン	3,650	3,601	▲49

分譲販売戸数	2026/3期 実績	2027/3期 見込	増減
戸建住宅	77戸	66戸	▲11戸
マンション	285戸	386戸	101戸
持分換算後分譲販売戸数			
戸建住宅	37戸	30戸	▲7戸
マンション	130戸	141戸	11戸

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

2027年3月期 通期見通し ー 流通事業

単位：百万円	2026/3期 実績	2027/3期 見込	増減	備考	2027/3期 計画	増減
営業収益	176,135	177,300	1,165		175,400	1,900
百貨店	63,480	64,400	920		62,500	1,900
ストア	75,025	72,200	▲2,825		72,600	▲400
その他	37,630	40,700	3,070		40,300	400
営業利益	6,004	9,200	3,196		8,000	1,200
百貨店	5,293	6,600	1,307		5,200	1,400
ストア	1,057	1,100	43		1,100	-
その他	▲346	1,500	1,846		1,700	▲200

主要百貨店 売上増減率	2026/3期 実績	2027/3期 見込
池袋	4.3%	2.5%
船橋	2.4%	1.2%
宇都宮	0.8%	2.1%

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

2027年3月期 通期見通し ー その他事業

単位：百万円	2026/3期 実績	2027/3期 見込	増減	備考	2027/3期 計画	増減
営業収益	92,645	96,900	4,255		95,000	1,900
営業利益	6,955	6,400	▲555		7,100	▲700

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

2027年3月期 通期見通し ー セグメント別参考数値

営業利益ROA（%）

	2026/3期 実績	2027/3期 見込	増減	2027/3期 計画	増減
運輸事業	2.7	2.3	▲0.4P	2.3	-
レジャー事業	6.3	6.0	▲0.3P	6.2	▲0.2P
不動産事業	4.3	4.1	▲0.2P	4.1	-
流通事業	4.2	6.1	1.9P	5.3	0.8P
その他事業	2.2	1.9	▲0.3P	2.2	▲0.3P
全体	4.0	3.8	▲0.2P	3.8	-

EBITDA（百万円）

	2026/3期 実績	2027/3期 見込	増減	2027/3期 計画	増減
運輸事業	60,385	60,600	215	60,300	300
レジャー事業	25,188	25,600	412	26,400	▲800
不動産事業	26,658	27,100	442	26,900	200
流通事業	9,344	12,200	2,856	11,100	1,100
その他事業	8,580	8,000	▲580	8,800	▲800
全体	127,075	131,000	3,925	131,000	-

減価償却費（百万円）

	2026/3期 実績	2027/3期 見込	増減	2027/3期 計画	増減
運輸事業	32,740	36,200	3,460	36,000	200
レジャー事業	6,741	7,100	359	7,100	-
不動産事業	10,766	11,100	334	11,100	-
流通事業	3,339	3,000	▲339	3,100	▲100
その他事業	1,625	1,600	▲25	1,700	▲100
全体	55,213	59,000	3,787	59,000	-

設備投資（百万円）

	2026/3期 実績	2027/3期 見込	増減	2027/3期 計画	増減
運輸事業	53,191	73,700	20,509	73,400	300
レジャー事業	14,404	11,000	▲3,404	11,800	▲800
不動産事業	27,976	7,800	▲20,176	8,900	▲1,100
流通事業	5,494	7,000	1,506	7,600	▲600
その他事業	1,646	2,000	354	2,300	▲300
全体	102,713	101,500	▲1,213	104,000	▲2,500

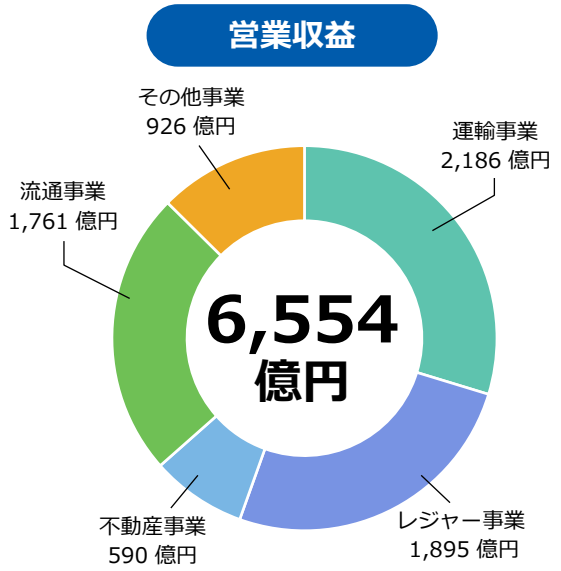
All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

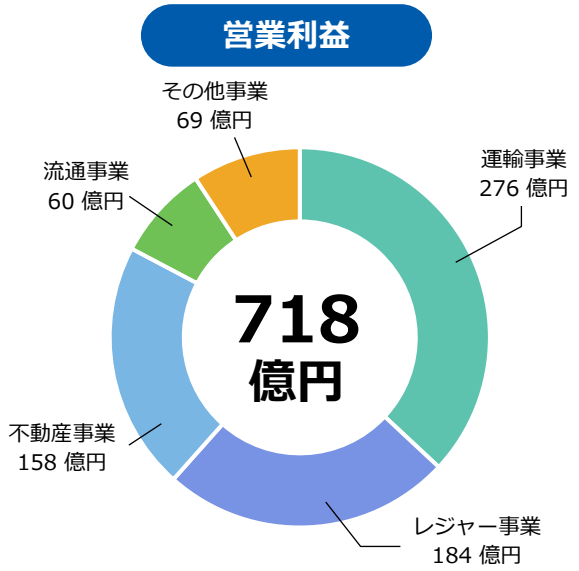
会社概要

■ 会社概要

社名	東武鉄道株式会社 （TOBU RAILWAY CO.,LTD.）
設立	1897（明治30）年11月1日
本店所在地	東京都墨田区押上一丁目1番2号
本社事務所	東京都墨田区押上二丁目18番12号
資本金	1,021億3,597万1,747円
連結従業員数	18,294人
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで

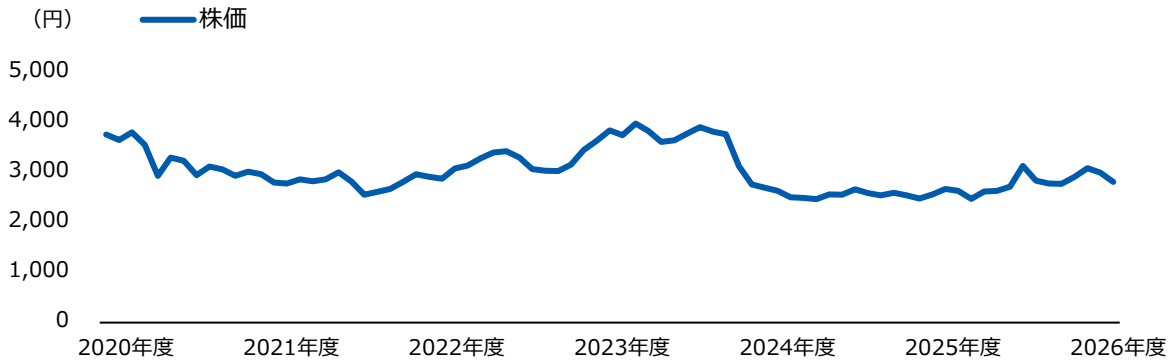
■ 東武グループ経営状況（2025年度）





※各セグメントの営業収益・営業利益は、連結消去前の金額となっております。

■ 株価推移



※2026年9月30日現在

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

事業概要

運輸事業

- **鉄道業、バス・タクシー業、貨物運送業**
- **輸送の安全を第一に、きめ細かな行き届いたサービスの提供と、ワンランク上の物流サービスを展開**



主なグループ会社

- 東武鉄道
- 東武バス
- 東武デリバリー
- 朝日自動車
- 東武運輸

レジャー事業

- **旅行業、ホテル業、スカイツリー業をはじめ、遊園地・テーマパーク、スキー、ゴルフ、スポーツクラブ、ロープウェイ、遊覧船等を運営し、お客様の非日常を盛り上げる多様なニーズにお応え**



主なグループ会社

- 東武鉄道
- 東武トップツアーズ
- 東武タワースカイツリー
- 東武興業
- 東武ホテルマネジメント

不動産事業

- **不動産分譲・賃貸・仲介業、 建物・施設管理業**
- **良質な不動産の提供や不動産・財産の最適活用のコンサルティング、「東京ソラマチ」の商業運営を遂行**



主なグループ会社

- 東武鉄道
- 東武不動産
- 東武タウンソラマチ

流通事業

- **百貨店業、ストア業**
- **ターミナル駅の特性を活かした都市型百貨店を展開するとともに、東武ストアでは「地域で一番買いやすい店づくり」を目指し、店舗価値向上を推進**



主なグループ会社

- 東武百貨店
- 東武マーケティング
- 東武商事
- 東武宇都宮百貨店
- 東武ストア

その他事業

- **建設・施設設備管理・建材供給・熱供給業**
- **グループ各社が連携しながら、安心して住み続けられるまちづくりに貢献**



主なグループ会社

- 東武建設
- 東武谷内田建設
- 東武ビルマネジメント

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

東武グループの主な施設

■ 観光施設

施設名	所在地
東京スカイツリー	東京都墨田区
東武動物公園	埼玉県南埼玉郡宮代町
東武ワールドスクウェア	栃木県日光市



▲ 東武動物公園ホワイトタイガーの赤ちゃん
（左：コタ　右：ハク）



▲ 東京スカイツリー®



▲ 東武ワールドスクウェア
（サグラダ・ファミリア）

■ ホテル

施設名	客室数
コートヤード・マリオット銀座東武ホテル	196
ACホテル・バイ・マリオット東京銀座	296
東武ホテルレバント東京	383
成田東武ホテルエアポート	484
宇都宮東武ホテルグランデ	149
品川東武ホテル	190
渋谷東武ホテル	205
浅草東武ホテル	253
和光市東武ホテル	158
川越東武ホテル	168
ザ・リッツ・カールトン日光	94
フェアフィールド・バイ・マリオット札幌	254
上尾東武ホテル	84
仙台国際ホテル	234
日光アストリアホテル	63
蔵王アストリアホテル	53
日光金谷ホテル	63
中禅寺金谷ホテル	57



▲ コートヤード・マリオット銀座東武ホテル



▲ 日光金谷ホテル

■ 百貨店

支店名	運営会社
池袋店	（株）東武百貨店
船橋店	
宇都宮店	（株）東武宇都宮百貨店
栃木市役所店	



▲ 東武百貨店池袋店

■ ストア

展開地域	店舗数	運営会社
東京都	23	（株）東武ストア
埼玉県	21	
千葉県	12	



▲ 東武ストア竹ノ塚店

■ ショッピングセンター

施設名	店舗数
東京ソラマチ	308
新越谷ヴァリエ	97
草加ヴァリエ	60
浅草エキミセ	31
エキアプレミエ和光	28



▲ 東京ソラマチ（東武タウンソラマチ）

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

※2026年9月30日現在

数字で見る東武鉄道

■ 数字で見る東武鉄道

鉄道営業キロ	関東民鉄 No.1 463.3km
旅客駅数	205駅
鉄道車両数	1,772両
輸送人員	8.8億人/年

■ 路線図



All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

※2026年3月31日現在

当該資料に関する注意事項

　この配布資料に記載されている利益等の計画値については、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通し等、国内および諸外国の経済状況その他業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報を基にした予想を前提としています。
　従って、実際の業績は経営環境等の変化に伴い、この配布資料に記載されている計画値とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.